

## 会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第1回瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
開催日時	平成21年4月17日(金) 13時30分～14時40分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1)委員会規約(案)について (2)会長・副会長について (3)瀬戸・高松広域定住自立圏の取組について (4)推進体制(案)について (5)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人, 副会長 菰渕将鷹, 岡田好平委員, 藤本誠助委員, 坂下一朗委員, 中村勝利委員, 石原收委員, 糸井明人委員, 濱田孝夫委員, 蓬清二委員, 藤井賢委員, 村瀬秀則委員
傍聴者	0人 (定員 10人)
担当課および連絡先	企画課 (839-2135)

### 会議経過および会議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

- (1) 委員会規約(案)について  
全会一致により承認された。
  - (2) 会長・副会長について  
瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会規約第5条第2項の規定により、中心市の市長の職にある者が会長となり、副会長は会長が指名した。  
会 長 大西秀人, 副会長 菰渕将鷹
  - (3) 瀬戸・高松広域定住自立圏の取組について  
次の議題について協議し、下記の結果となった。  
瀬戸・高松広域定住自立圏の取組について……事務局より説明
- (会長)  
事務局から瀬戸・高松広域定住自立圏の取組内容等につきまして、説明がありました。御質問、また、この定住自立圏の取組の事につきまして、御意見等ございましたら、御発言をお願いしたいと思います。
- (委員)  
大変賛成でございます。色々とそれぞれの地域がプラスになるということを実施したいという気がいたしております。この瀬戸・高松広域定住自立圏の取組に、町の重点的な課題をあげております。

## 会議経過および会議結果

この3つの取組の分類に、事業を平均に割り振りたいと思っておりますが、将来的にはいろいろと協力組織をつくりまして、また定住自立圏の中で取り入れていただくことを是非お願いしたいと思っております。

(委員)

この定住自立圏構想につきましては、いろいろなことを勉強させていただいて、委員会を組織し、協議していきたいと思っております。

ただ、この期限が非常に性急なので、この期限内にやるというのは厳しいと思っております。しかし、市と周辺の町とが、お互いにメリットがあることをやっていくことは有意義だと思っておりますし、これからの自治体間競争で生き残っていかないといけないわけですから、一緒になって模索して頑張っていきたいと思っております。

(委員)

委員会規約を審議し、瀬戸・高松広域定住自立圏の内容について説明を受けて、なるほどと思えますし、また結構だと、そのように考えているところですが、中心市を中心に周辺の町が、それぞれにメリットがあり、そして住民がそれに期待できるような進め方ができればと思います。今後ともよろしくお願いします。

(委員)

今回、高松市が中心でこの定住自立圏構想が進んでおりますが、今まで、瀬戸内海のほうはあまり目を向けてもらっていませんでしたが、今回は十分に瀬戸内海を視野に入れて、取り組んでいただいております。

これについては敬意を表しております。各町とも地域性がありますし、期限の問題もありますので、取りまとめる高松市は本当に大変だと思いますが、前向きでやらせていただきたいと思っております。

定住自立圏構想については、今まで話をしたことは、ここで盛り込んでいただいておりますので、専門的なことについては担当部局で十分協議した後、協定になるようにと考えておりますので、よろしくお願いします。

(委員)

この定住自立圏の構想について、賛成でございます。今日まで、高松と私どもの町の関係は生活圏、それから経済圏、このような面で、大変協調的に今日までやってきております。

たとえばゴミです。ゴミは私どもの町で受けており、町の就業者の8割は高松で働いているという状況であります。

従いまして、今までやってきたことを、定住自立圏構想にあわせて長い将来を発展的に考えていきたい。協調、協力と言う面で、高松市とともに努力していきたいと考えております。

(会長)

他の方で何か特に御意見、御質問ございませんでしょうか。

(委員)

最近、特に地方分権という声が聞かれますが、確かに地方分権に頼っている部分もあるのですが、国のから地方にいろんな事業をやれとって、その割にお金が来ないので、地方は財政が極めて厳しいと思います。

この定住自立圏構想をやっていくのであれば資金が重要です。国から都市部ばかりに手厚い補助、公金を出すのではなくて、地方も頑張れと言うのであれば地方にもそれなりの資金、財政支援があればよいのですが、頑張れといいながら、資金も出さないというのであれば、これはやっぱり地方として、なかなか力が入らないと思っております。

## 会議経過および会議結果

中心市と各町が協定は結んだけれど、結局、何もできなかったということにはならないように、十分考慮していただいて、この定住自立圏構想がスムーズに発展的になっていくことを期待しています。

### (4) 推進体制（案）について

次の議題について協議し、下記の結果となった。

推進体制（案）について……事務局より説明

#### (会長)

事務局から推進体制と大まかなスケジュールにつきまして、説明がありましたが、御意見御質問がありましたら、御発言をお願いします。

#### (委員)

資料に構想策定懇談会とあるのですが、これはどういったものですか。

#### (事務局)

構想策定懇談会というのは、定住自立圏共生ビジョンの懇談会のことです。協定締結後、懇談会を立ち上げまして、そこでビジョン策定のためのご意見をいただく、そういうことを考えています。

スケジュールとしましては、協定締結を遅くとも年内にと思っておりますので、事務レベルの協議の進捗を見てから、調整させていただきたいと思っております。

この共生ビジョンは、中心市の高松市が策定するものです。しかしながら圏域全体のビジョンですので、協定に基づく、いわば実施計画のようなものですから、ビジョンの策定に当たりましては、この推進委員会の委員の皆様のお意見等をお伺いしてまいりたいと存じます。いずれにしましても、策定をするのは高松市です。よろしくお願いします。

#### (会長)

他にございませんでしょうか。以上で、議事については終わりましたが、その他で、せっかくの機会ですので定住自立圏構想、あるいはそれ以外で共通するような話題の提供等、御意見・御質問あればよろしくお願いします。

特に無いようですので、事務局から何かありますか。

#### (事務局)

今回の会議の日程調整について、目下のところ7月の下旬に開催したいと存じておりますが、事務レベル協議もございませぬことから、日時については、協議が調い次第、連絡させていただきたいということで、よろしくお願いします。以上でございます。

#### (会長)

よろしいでしょうか。

それでは、本日の第1回の委員会はこれを持ちまして終了させていただきたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。